

# はーと・シップ

「はーと・シップ」はハートフルシティとパートナー・シップを合わせて小野市の男女共同参画を表す愛称としています。

特集は  
国体座談会！

## 気がつけば男女共同参画！

### セミナー報告

## 「これからはじめる介護講座」を開催しました

いつかは必ずやってくる老後。10月21日から3週にわたり、3つのプランで介護のアレコレを楽しく学んでいただきました。第2回目では、実際にご家族の介護をされている小野市くすの木会(要介護者家族会)の皆さんとの交流を行い、それぞれの状況をお伺いしました。

まだまだ、家族介護の主な担い手は女性であると言われていています。また、介護者自身が高齢化しつつあります。そんな中、長年にわたり奥様を介護されている男性が「介護をされる妻の方が、きっと大変だと思います。妻を介護することで自分自身の考え方が変わり感謝しています。」と話されていたのが印象的でした。

参加者の声

- ・自分の生きる姿勢を考えさせられた。
- ・老人ホームも色々あるが、自分なりに選択する方法や手段も参考になった。
- ・お世話されている人のお話から、介護の大変さを再認識しました。
- ・介護を受けないように健康に気をつけたい。また、介護する立場になったら今回の講座を参考にしたい。
- ・介護をしている人、現在は必要としない人が一緒になって介護の話をするのが大切だ。
- ・わかりやすく親切な介護講座でした。このような講座は続けることに意義がある。

はじめての介護講座でしたが、参加者の方々からはうれしいご意見をいただきました。これからも皆さんのご要望にお応えできればと思います。ありがとうございました。



## インフォメーション

Information

### 男の生き方セミナー

## 第二の人生、楽しく生きた者勝ち

セミナー募集

700万人と言われる団塊世代の退職 —— 大定年時代の到来です。夫婦・余暇・資金・再就職と課題は尽きませんがこのあたりで今までの生き方を振り返り、暮らしに足をつけた「自分らしい生き方」をいっしょに探してみませんか？毎回、応募者が殺到する人気講師をお迎えします。楽しい第二の人生を過ごすためのヒントがきっと得られます。

講師：吉田 清彦 さん  
(フリーライター・家事としての男の手料理研究家)  
場所：小野市うるおい交流館エクラ 2階中会議室  
(3回目のみコミセンおおべ)  
対象：男性  
定員：20名(応募多数の場合は抽選)  
参加費：無料(3回目のみ材料費800円をいただきます)  
一時保育：無料(要予約・10名まで)  
申込方法：電話・FAX・メール・ハガキで、住所・氏名・電話番号・託児の有無をお知らせください。  
締切り：2月28日(水)  
※3回目は料理教室につき、エプロン・三角巾をお持ちください。

	日時	内容	場所
1	3月10日(土) 13:30~16:00	人生再設計のすすめ① 「会社人間から生活人間になる」	小野市 うるおい 交流館
2	3月17日(土) 13:30~16:00	人生再設計のすすめ② 「自分の気持ちを相手に伝えるコミュニケーション術を学ぶ」	エクラ2階 中会議室
3	3月24日(土) 10:00~14:00	男の腕まくり「料理の基本のワザを身につける」 献立:玄米ごはん、肉じゃが、里芋と豚肉のみそ汁、 ツナと玉ねぎのサラダ	コミセン おおべ 1階 調理室



# 国体 座談会

## 気がつけば男女共同参画!



「ありがとう」心から・ひょうごから」のスローガンのもと「のじぎく兵庫国体」は11日間にわたる会期を終え平成18年10月10日に閉幕しました。小野市では10月1日から4日間、成年男子6人制バレーボールが盛大に開催されました。

市内各地域の皆さんが、心のコもった民泊で選手たちを迎えられました。

本誌では、優勝チームの「サントリーサンパーズ(大阪府)」・次回開催地である「秋田県チーム」の2つの選手団を受け入れられた粟生地区の藤井隆雄さん、かわい地区の小林信義さん、小林ふみ子さんにお話を伺いました。

### 民泊で受け入れ

藤井：4年前に民泊と聞いて、みんな「なんのことや?」という状態でした。しかしとにかく形にしていけないと、「河合地区民泊協会」を発足させました。男女両方参加することによって、いい知恵も出るだろうという思いもあり、メンバーは各町男女ひとりずつ計20名、選出しました。区長会にも参画いただき、委員の振分けや調理委員の選出、民泊家庭の依頼などを担っていただきました。協会メンバーは知らない人が多く、ちょっと年齢が離れたらまったくわかりませんでした。

小林信：メンバーの顔と名前を、全部覚えるまで大変でした。(笑)



美化班による花植え

### みんな一丸となって

小林信：民泊家庭を引き受けてもらうのに、みんな「どこかが受けてくれるだろう」というような状況でしたので、各町の区長さんはだいぶ四苦八苦されたようです。

小林ふ：でも、最後にはすごく盛り上がり、「うちも選手を泊めてあげたかった」とか「50年後に民泊あったらやります」という声がたくさんありました。(笑)

藤井：民泊をきっかけに、準備段階からみんなが携わってきたからです。調理委員会が試食会をやりだした1年前から、だんだんと盛り上がりしてきました。いよいよとなったのは、受け入れチームが決まった9月10日頃からです。準備時間が十分になかったため、歓迎会の準備や応援グッズを作るのも大変でした。保育所や小・中学校の子もたちがポスターや、のぼりを書いてくれました。

小林信：来年の開催地、秋田県の「なまはげ」や、国体マスコットの「すぎっち」も作りました。力作の「なまはげ」は選手団に大変感謝してもらえました。



子ども達による歓迎のぼりの製作

### 気がつけば男女共同参画

小林信：男女共同参画なんて、一切考えていなかったです。最初から男女半々でやってきましたが、女性パワーは大きかったですね。歓迎会の準備では、前々日に男女大勢集まって夜遅くまで頑張ったんですが、女性は細かいところまで気がついて、「ここはこうしたほうがいい」とか、どんどん盛り上がりていきましたね。同じ目的があるから自然と一つになっていく。そう感じました。

藤井：結果として、男女共同参画でやってきたのがよかった。これからも、いろいろできるのではないかと思います。

小林ふ：男女とか地域とかそういうものを超えて、一つの目的がありましたしね。誰が言うでもなく、自然と適材適所になっていました。私の場合、ふだん話もしたことがなかった人たちと調理を通して交流が深まりみんなで一生懸命になれました。終わったときは、「このまま終わるのがもったいない」「次に何かあれば絶対やりたい」と皆さん言われていました。「感動」って言うけど、本当の「感動」っていうのはこう言うもんじゃないって、選手と別れる時にしみじみ思いましたね。

藤井：長い時間をかけて準備をし、苦労もありましたが、最後はみんなで「感動国体ありがとう」と言いました。

全員：本当によかったと思います。



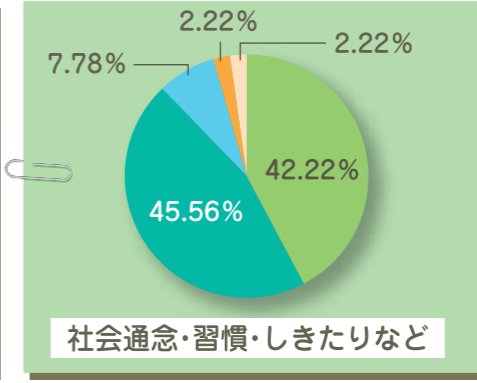
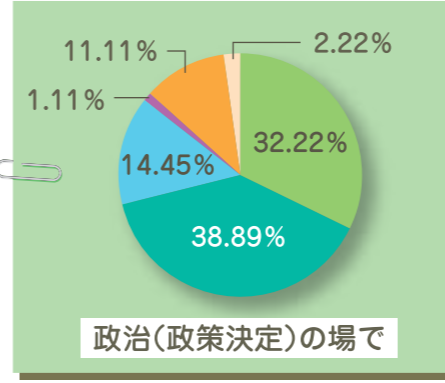
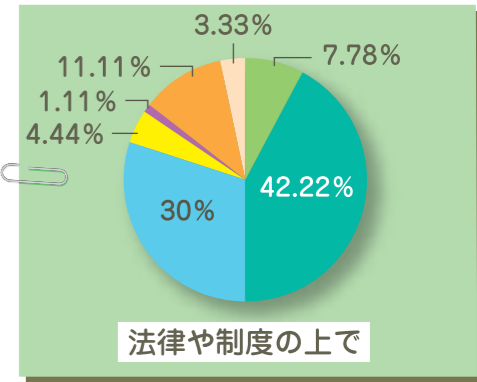
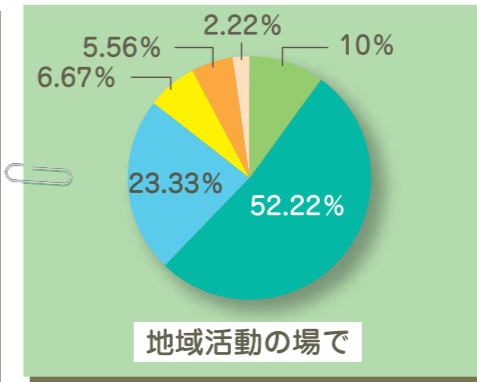
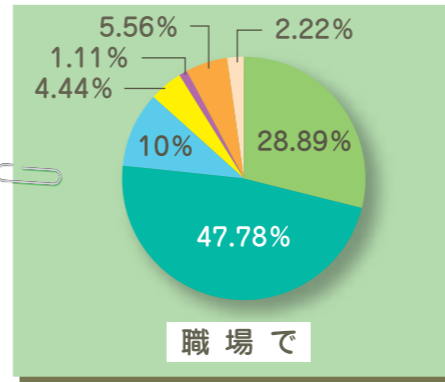
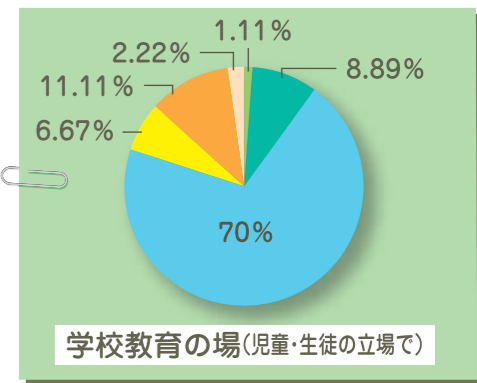
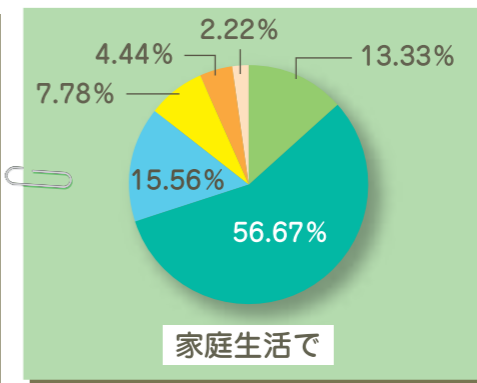
なまはげ・すぎっちも応援!



# まちづくりモニター・男女共同参画に関するアンケート結果 vol.1

平成17年4月「小野市うるおい交流館エクラ」に「小野市男女共同参画センター」が開設しはや2年が過ぎようとしています。そこで、まちづくりモニターの皆様へ男女共同参画に関する意識やご意見をお聞きしました。

男女平等意識について  
今の日本の社会では、男女の立場はどのようになっていると思いますか。



男性の方が非常に優遇されている  
 どちらかといえば男性の方が優遇されている  
 平等になっている  
 どちらかといえば女性の方が優遇されている  
 女性の方が非常に優遇されている  
 わからない  
 非回答・未記入

### その他のご意見

- まず、地域社会・隣保の男社会を変えなくてはならない。
- 社会通念・習慣・しきたり・世代間の考え方の違いの意識改革は、時間をかけて取り組んでいかなくてはできないことかもしれない。
- 男性側の意識だけでなく、まず女性側の意識を変えることも大切だと思う。

“男女平等である”との回答が一番多かったのは学校教育の場(70%)でした。男女混合名簿などを取り入れたことなどが反映されているようです。ところが、その他の分野を見ると“男性の方が優遇されている”の回答がいずれも上回っていました。また一方で“女性が優遇されている”は全分野において10%に満たない結果でした。まだまだ、男性が優位であるという意識が強いようです。

いかがでしたでしょうか?ご意見等ございましたらお寄せください。お待ちしております。その他の調査内容として「家族の役割について」「ドメスティック・バイオレンス(DV)について」「小野市男女共同参画センターについて」をお聞きしました。限られた誌面に、アンケート結果をすべて掲載することができませんが、次号からの「はーと・シップ」にも引き続き掲載しますので、ぜひご覧ください。

まちづくりモニター：100名  
回答者：90名

お話を伺っているあいだも、開催中に撮られた写真をご覧になっては「この時は、こうやったね。」「楽しかったな～。また、やりたい。」と思い返されていました。みんなで何かをやり遂げた達成感、満足感、そして感動が伝わってきました。それはきっと、河合地区に限ったことではなく、国体に携わった誰もが、感じられたのではないのでしょうか。性別や年齢、地域も関係なく協力し、気がつけば男女共同参画ができていた。このような取り組みが増え、まちづくりの大きな「力」となっていけると嬉しいです。

# Heartful Partner

## ハートフルパートナー

VOL.10

今回は、山田錦の米粉を使った「たご焼き・焼きそば」を小野市や近隣のイベントで販売されている、浄谷町景観作物栽培管理組合加工部の女性7人グループを紹介します。



浄谷町景観作物栽培管理組合加工部

藤本 妙子 藤原 よし子 酒見 敬子 藤原 好子  
藤原 幸子 河合 八重子 永井 和美

### Q 始めるきっかけは何でしたか？

平成16年に小野市から米粉を使って何か作ってみてはどうかと言われ、ひまわりの丘公園を訪れる方々に、まずお好み焼きとたご焼きを200食試食してもらいました。

### Q 反応はどうでしたか？

甘みがあって冷めても美味しいと、評判も上々でした。

### Q 小麦粉とは違うため、苦労された事もあったでしょう。

米独特の粘りがあるので、試行錯誤しながら完成させました。

### Q 次の開発ということで、焼きそばにもチャレンジされたのですね。

小麦粉の麺とは違うので、具と調味料のバランスや焼き方に、あ〜でもない、こ〜でもないとい度も試作しました。

### Q お忙しくされていますが、困った事などありますか。

屋外での作業なので、テント設営・食材や調理器具の運搬などは、男性4人にいつも協力してもらっています。

### Q このグループに入って良かった事はどんな事ですか。

外へ出るきっかけをもらい、交流の場が増え、学ぶことも多く刺激にもなります。とにかく今、皆が1つになって仲良く活動できる喜びがなによりなので、無理をせずにマイペースで活動していきたいです。

同じ地区に住んでいながら顔を合わす機会も減った地域の女性が、7輪のひまわりのように笑顔いっぱい生き生きと活動されている姿は、まさにステキなハートフルパートナーでした。

## 川柳

### 席題「男・女の本音」

主婦労働 基準局でも 決められず 小野市 ペンネーム ブーちゃん  
主婦の座を 空けたい夫の 几帳面 小野市 井上静子

### エクラ ハートフルサロン内にも、投句箱を設置！

ハガキ・ファックス・メールでも受付けています。掲載された方には小野市うるおい交流館エクラ・喫茶コーナーのモーニングチケットをプレゼント！ご応募は事務局まで。

## 相談窓口案内

市外の相談窓口もご利用頂けます。

実施機関	種類	所在地	電話番号	実施日時
小野市男女共同参画センター	女性のための さまざまな相談	小野市中島町72 小野市うるおい交流館 エクラ内	電話相談 (随時) 0794-63-8250	木曜日 9:30~11:30
			面接相談 (予約制)	木曜日 13:00~16:00
※託児ご希望の方は、ご相談ください。				
小野市民病院	女性のための 医療専門相談	小野市中町323	面接相談 (予約制) 0794-63-2020 内線188	木曜日 13:00~16:00
三木市男女共同参画センター	女性のための 相談	三木市上の丸町8-30 勤労青少年ホーム内	電話相談 (随時) 0794-89-2354	木曜日13:00~16:00 土曜日10:00~12:00
			面接相談 (予約制) 0794-89-2331	木曜日10:00~12:00 土曜日13:00~16:00
北播磨県民局	女性問題相談	加東市社字西柿 1075-2	電話相談 (随時) 0795-42-5111・内線604 面接相談 (予約制) 0795-42-5111・内線604	月・水~金曜日 9:00~17:00 月・水~金曜日 9:00~17:00
兵庫県立男女共同参画センター	男性問題相談 不妊専門相談	神戸市中央区 東川崎町1-1-3	電話相談 (随時) 078-360-8553	第3火曜日 17:00~20:00
			電話相談 (随時) 078-360-1388	第1・2土曜日/第2木曜 10:00~16:00
※これ以外にも様々な相談をお受けしています。078-360-8550へお問い合わせください。				
兵庫県立女性家庭センター (配偶者暴力相談支援センター)	電話相談	—	電話相談 (随時) 078-732-7700	毎日 9:00~21:00

## 相談室から

### ドメスティックバイオレンス(DV)をご存知ですか？

DVとは、配偶者や恋人、パートナーなど親しい関係にある者から振られる暴力です。被害者は圧倒的に女性が多い実態があります。暴力はどのような立場であってもどのような理由であっても許されない人権侵害であり、DVは力による支配であり、犯罪です。加害者の多くは「暴力を使うのはお前のせいだ」と責任を転嫁させたり、暴力を振った後やさしくなったりして被害者の心と身体にダメージと混乱を与えていきます。

貴女自身のこれからの人生と子どもさんのためにも、DVかな？と感じられた時は、どうか一人で悩まず相談してください。気持ちの整理や、これからできることを共に考えていきましょう。



本誌に対するみなさまの率直なご意見やご感想をお聞かせください。ハガキ、ファックス、Eメールで受付しています。

#### ■ 企画・編集 はーと・シップ編集委員会

高坂純子、東一文代、中尾和榮、鳴美千恵子  
藤井隆雄、藤岡昭臣、前田民樹、横山茂宏

#### ■ 事務局 小野市男女共同参画センター (NPO法人 北播磨市民活動支援センター)

〒675-1366 兵庫県小野市中島町72番地 小野市うるおい交流館エクラ  
TEL 0794-63-8156 FAX 0794-62-2400  
URL <http://www.ksks-arche.jp/danjo/> E-mail: danjo@ksks-arche.jp

#### ■ 発行 小野市